

別記
様式第3号（第4条関係）

設計者の資格に関する申告書						
設計者の住所 〇〇市〇〇町〇〇番地〇			設計者の氏名 〇〇 〇〇 〇〇年 〇月 〇〇日生			
申告する資格 宅地造成及び特定盛土等規制法施行令第22条第（ ）号に該当						
最終学歴	学校名 〇〇大学		技術士 (建設) 部門 第 〇〇〇〇 号		〇〇年 〇月 取得	
	学科名 〇〇学科		一級建築士の資格 第 号 年 月 取得			
	卒業年月 〇〇年 〇月		昭和37年3月29日建設省告示 第1005号による資格 ☐ 第1号 ☐ 第2号 ☐ 第3号 ☐ 第4号			
宅地造成等に関する工事の実務経歴	勤務先の名称	工事名	職務内容	期間	期間	合計
	〇〇株式会社	〇〇造成工事	現場監督	H5年4月から H10年3月まで	(5年0月)	31年0月
	株式会社△△	△△宅地造成工事	監理技術者	H10年4月から R1年3月まで	(21年0月)	
	株式会社△△	□□造成工事	現場代理人	R1年4月から R6年3月まで	(5年0月)	
				年 月から 年 月まで	(年 月)	
				年 月から 年 月まで	(年 月)	
				年 月から 年 月まで	(年 月)	

下記の1から5のいずれかを記入。

1. 学校教育法による大学（短期大学を除く。）又は旧大学令による大学において、正規の土木又は建築に関する課程を修めて卒業した後、土木又は建築の技術に関して2年以上の実務の経験を有する者

2. 学校教育法による短期大学において、正規の土木又は建築に関する修業年限3年の課程（夜間において授業を行うものを除く。）を修めて卒業した後、土木又は建築の技術に関して3年以上の実務の経験を有する者

3. 2に該当する者を除き、学校教育法による短期大学若しくは高等専門学校又は旧専門学校令による専門学校において、正規の土木又は建築に関する課程を修めて卒業した後、土木又は建築の技術に関して4年以上の実務の経験を有する者

4. 学校教育法による高等学校若しくは中等教育学校又は旧中等学校令による中等学校において、正規の土木又は建築に関する課程を修めて卒業した後、土木又は建築の技術に関して7年以上の実務の経験を有する者

5. 国土交通大臣が1.から4.のいずれかに該当するものと同等以上の知識及び経験を有する者であると認めた者

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 卒業証明書等資格を有する者であることを証する書類を添付してください。